

## 授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 医療的ケア		授業の種類 通信・スクーリング（演習）		授業担当者 菅原 太郎
授業の回数 2回	時間数（単位数） 50時間（通信） 16時間（演習2日間）	配当学年・時期 9月・11月		必修・選択 必修
<p>授業の目的・ねらい</p> <p><u>医療的ケア実践の基礎</u></p> <p><u>喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）</u></p> <p><u>経管栄養（基礎的知識・実施手順）</u></p> <p>演習</p> <p>授業内容</p> <p>テキストを精読し、各自の理解度を深めた上で、自宅演習問題を解答させ、評価する（通信）</p> <p>演習については、授業の目的及びテキストに沿った講義・演習を行う</p> <p>授業終了時の達成課題</p> <p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。</p>				
<b>【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】</b>				
コマ数	日程	学習テーマ	学習内容・方法	
1～3 4～5 6～7 13 8～10 11～12	9月  9月 9月 11月	医療的ケア実践の基礎  喀痰吸引（基礎的知識・実施手順） 経管栄養（基礎的知識・実施手順） 演習	人間と社会 清潔保持と感染予防 健康状態の把握 安全な療養生活 保健医療制度とチーム医療 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説 口腔内の喀痰吸引 鼻腔内の喀痰吸引 気管カニューレ内部の喀痰吸引 救急蘇生法 胃ろう・腸ろうによる経管栄養 経鼻経管栄養	
[使用テキスト・参考文献] 一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護福祉士養成 実務者研修テキスト 9巻			[単位認定の方法及び基準] 選択式問題30問のうち正答数27問以上で合格とする 救急蘇生法は1回以上実施することとする。 試験 救急蘇生法除く各行為5回のうち1回以上完全に手順を終えれば合格とする。	